

# マルチメディア検索／マルチメディアマイニング

2008年3月更新

## 概要

マルチメディア検索／マルチメディアマイニングとは、大量に蓄積された画像、映像、Webページ、オフィス文書、図面、3D-CADモデルなどのマルチメディア情報の中から欲しい情報をすばやく見つけ出したり、分析したり、その中に埋もれている有用な知識を発見するといった、マルチメディア情報を有効に活用するための技術です。富士通研究所では、仮想的な3次元空間に分類・配置された情報群を人が眺めることで、インタラクティブに検索／マイニングを実現できる新しい技術の研究開発を進めています。

## 技術のポイント

- ・ **仮想3次元空間を用いた分類・配置技術**  
マルチメディア情報が有する特徴に基づいて、類似する情報同士を近くに集めるなど、情報群を仮想的な3次元空間に分類・配置することにより、全体を眺めながら欲しい情報を探したり、情報間の関係を分析したり、知識を発見することが可能です。
- ・ **様々なメディアに応じた特徴抽出技術**  
画像や映像の色合い、3D-CADモデルの形状、テキストの意味内容など、さまざまなメディアに応じた特徴抽出技術により、幅広い分野や用途に適用できます。
- ・ **直感的なユーザインタフェース**  
情報群が配置された3次元空間を移動したり、情報群の配置を動的に変更するといった直感的、かつ、統一的な操作による検索／マイニングを実現できます。

## 適用例

- ・ 設計製造分野向けの類似図面検索製品「PLEMIA/VisualSearch」に搭載。
- ・ 美術館、博物館などの収蔵品検索システム「MultimediaArchiveExplorer」に搭載。
- ・ 録画したTV番組などの映像検索製品「3D MediaSurfing」(FMVバンドルソフト)に搭載。
- ・ 営業スタッフ向けオフィス文書検索ツール、設計者向け3D-CAD検索ツールとして利用。
- ・ 商品画像を用いた販売傾向分析、部品形状と性能との関係分析などのマイニングツールとして利用。

